

2023年7月19日

報道関係各位

GMO イブシロン株式会社

フィンコード
スタートアップ向けオンライン決済インフラ「fincode byGMO」、
決済手段に「Apple Pay」を追加
～統合された API で実装コストを抑え「Apple Pay」による決済を受付可能に～

GMO インターネットグループで GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（以下、GMO-PG）の連結会社である GMO イブシロン株式会社（代表取締役会長：村上 知行 以下、GMO-EP）は、2023年7月18日（火）より、スタートアップが成功できるように設計されたオンライン決済インフラ「fincode byGMO」^{フィンコード}（URL：<https://www.fincode.jp/>）の決済手段に「Apple Pay」を追加いたしました。

「fincode byGMO」の導入事業者は、クレジットカード決済やコンビニ決済等と統合された API を利用して、自社の Web アプリ・スマホアプリ等において「Apple Pay」による決済の受付が可能となります。



【背景と概要】

日本国内の多くのスタートアップは、限られた人員で高いスピード感を持って事業成長に取り組んでいます。そのためサービスやプロダクトのコアではない決済機能には、「すぐに導入できる」「実装が容易」「シンプルな料金体系」などが求められています。このような背景のもと GMO-EP は、GMO-PG がグループとして培ってきた決済におけるナレッジ・開発力を生かし、スタートアップの決済領域の課題を解決するオンライン決済インフラ「fincode byGMO」を 2022 年 5 月より提供しています。

「fincode byGMO」では、スタートアップを中心とする導入事業者のビジネスニーズやエンジニアの声を積極的に取り入れながら、時流に合わせたアップデートを定期的^(※1)に実施しており、このたび新しい決済手段として「Apple Pay」^(※1)を追加いたしました。

「Apple Pay」は Apple Inc. が提供するキャッシュレス決済サービスです。ユーザーは手動で情報を打ち込むことなく、Touch ID や Face ID 等の生体認証による承認のみで安全にクレジットカード決済ができます。そのため EC 事業者は、ユーザーの入力間違いによる「かご落ち」や不正利用による「チャージバック」の発生を抑えることができます。

オンライン決済においてより便利で安全な決済手段が求められる中、「fincode byGMO」導入事業者は決済手段として「Apple Pay」を提供することが可能となります。なお、クレジットカード決済やコンビニ決済等と統合された API のため、「fincode byGMO」導入事業者は実装・学習コストを抑えて、自社の Web アプリ・スマホアプリ等において「Apple Pay」による決済の受付が可能となります。

(※1) 「Apple Pay」についての詳細は Apple Inc. の Web サイトをご参照ください。

URL : <https://www.apple.com/jp/apple-pay/>

【「fincode byGMO」について】

「fincode byGMO」は、スタートアップのサービスローンチ前後に生じる決済領域の隠れた課題を網羅的に解決し、同時に、事業フェーズの進展に伴い求められる拡張的な価値をシームレスに提供するオンライン決済インフラです。

EC はもちろん、プラットフォーム型やサブスクリプション型の複雑で現代的なビジネスモデルに求められる機能・性能を、BtoC・BtoB・CtoC を問わず幅広くカバーしています。加えてオンラインでアクセス可能な開発支援アセットを豊富に提供し、決済とソフトウェア、そしてスタートアップビジネスに精通したカスタマーサクセスチームが、実装と運用をバックアップします。

リーンな開発が求められる PMF (Product Market Fit : プロダクトが市場のニーズを満たす状態) フェーズにおいては、「テスト環境の即時提供」「迅速な Web 審査」「決済実装未経験のエンジニアにも理解しやすいオンラインガイダンス」「開発工数を削減する SDK・UI コンポーネントの提供」などにより、短いリードタイムで決済の実装が可能となり、自社プロダクトの作り込みにフォーカスいただくことが可能です。

また、グロースフェーズでは、「重要となる幅広い決済手段や多様な課金体系への対応」「増加する決済トランザクションの安定的な処理」「改善サイクルの早い法規制やセキュリティ基準への準拠」「プラットフォームにおけるテナントの登録・管理」など、ビジネスモデルに応じたユーザー基盤の強化をバックアップします。

いずれのフェーズにおいても、初期費用や月額利用料、アカウント維持費用や振込手数料などの見えないコストを徹底的に排除し、決済額に応じた手数料のみですべての機能をご利用いただけます。なお、決済手段はクレジットカード、コンビニ支払い、PayPay、Apple Pay に対応しており、随時追加予定です。

【GMO イプシロン株式会社について】

GMO-EP は、初期費用やトランザクション処理料^(※2)が無料の決済代行サービスを提供する事業者です。2023年3月末時点で、43,242店舗にのぼる EC 事業者にご利用いただいております。GMO-EP とご契約いただくだけで、決済事業者ごとにシステムを構築する必要なく、クレジットカード決済からコンビニ決済、ウォレット決済、スマートフォンキャリア決済等、さまざまな決済手段及び配送サービスを一括で利用することができるほか、購入者から回収した商品代金や配送の運賃精算も一括して行うため、手間やコストを大幅に省くことが可能です。また、EC 事業者の円滑なキャッシュフローをサポートするべく、売上連動型ビジネスカード「Cycle byGMO」、レンディングや送金サービス等の金融関連サービスも提供しています。東証プライム上場企業である GMO インターネットグループの一員であり、個人情報保護ではプライバシーマークの付与を受け、セキュリティ基準は PCI DSS と ISMS に準拠するなど、お客様が安心してご利用いただける環境となっております。

(※2) トランザクション処理料とは、クレジットカードのオーソリゼーション (承認番号取得) や請求等でクレジットカード会社との通信ごとにかかる料金。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
企業価値創造戦略 統括本部 広報・UX 部
TEL : 03-3464-0182
お問い合わせフォーム :
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO イプシロン株式会社
「fincode byGMO」サポートチーム
お問い合わせフォーム :
<https://dashboard.fincode.jp/contact/>

- GMO インターネットグループ株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 山崎
E-mail : pr@gmo.jp

【GMO イプシロン株式会社】(URL : <https://www.epsilon.jp/>)

会 社 名	GMO イプシロン株式会社
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号 ヒューマックス渋谷ビル
代 表 者	代表取締役会長 村上 知行
事 業 内 容	■オンライン販売の決済代行、代金回収代行及びそれらに付帯する業務
資 本 金	1億5百万円

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】(URL : <https://www.gmo-pg.com/>)

会 社 名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム市場 証券コード:3769)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133億23百万円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード:9449)	
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー	
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿	
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット金融事業	■インターネット広告・メディア事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50億円	

Copyright (C) 2023 GMO Epsilon, Inc. All Rights Reserved.